

「AI 襲来、眠れぬサムライ 知識から知恵へ」(船越)

平成 27 年の発表なのに、わざわざ所得税確定申告期限の 3 月 15 日に、日経新聞の 1 面に掲載された記事です。英オックスフォード大と野村総合研究所が調べた、10~20 年後に日本の労働力人口の約 49% が就いている職業が技術的には人工知能等で代替可能になり、その職業の中に税理士業が含まれているという報告です。税理士界も AI 時代をにらめば、単純な手続き業務に見切りをつけ、経営者の方とより一層一緒になって知恵を絞り、技術革新に揺さぶられる中で生き残る道を必死に探し続ける日々となっています。



## 今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：北米自由貿易協定 (NAFTA)】

アメリカ、カナダ、メキシコの 3 カ国が締結した自由貿易の協定のこと。1994 年 1 月に発効した。関税やサービス、投資などの流れに対する障壁を段階的に撤廃し、知的財産権保護ルールの共通化なども図ってきた。自動車メーカーなどは 3 カ国をまたいだ生産体制を整備し、米国企業では人件費の安いメキシコに生産拠点を移すきっかけとなった。対メキシコ貿易赤字が増加したことを受け、米国では再交渉を求める声も出ている。

## 偉大なる日本の 100 人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【日本国家の未来のために：勝海舟】

江戸城無血開城を実現し「日本海軍の父」ともいわれる勝海舟は、1823 年に江戸で生まれました。父は旗本ながら終生無役で家は貧しかった海舟



ですが、17 歳の時に世界地図を見てその広さに驚き、まだ見ぬ世界を知ることが重要と悟ります。そこで独学でオランダ語を学び、全 58 巻から成る辞書『ゾーフ・ハルマ』を借り受けて筆写します。さらにオランダの兵学書までも、持ち主の家へ深夜に通い半年間で全て写し終えました。

これらの書物が、海舟の海防論形成や国際情勢を見る目を養ったのです。そして 30 歳の年にペリーが浦賀に来航、危機感を抱いた幕府は対外政策の意見を広く募ります。自らの存在をアピールし、幕府に仕官する道も開けると考えた海舟は「海防意見書」を提出します。その内容は、身分を問わない優秀な人材の登用、江戸湾の防備、軍艦の建設など、日本の国防や外交の将来に向けたものでした。これが認められ 32 歳という遅咲きで世に出ます。その後は幕臣の立場でありながら、開国の必要性を説き、坂本龍馬や西郷隆盛など倒幕の志士とも関わりを持ちつつ江戸城無血開城を実現したのです。「事を遂げる者は、愚直でなければならぬ」という海舟の言葉からは、不遇の立場に置かれながらもそれを悲嘆せず、国家の未来を大局的に見据え、真摯(しんし)に事に当たった生き様がうかがえます。

今を生きる

先人の言葉

人生にはきつと  
抜け路がある

日本の小説家でありハンセン病で隔離生活を余儀なくされていた北条民雄の言葉。北条氏いわく「生きる望みさえ失わなければ、そこからきつと抜け出せる」と。

# トレンドを斬る!

倉庫や駐車場などにとどまっていた鉄道の高架下が様変わりしています。昨年11月にオープンした「中目黒高架下」は約700

メートルに渡ってセンスの良いアパレルや飲食店などが軒を連ね、脚光を浴びています。鉄道会社が手掛ける同様の商業施設は景観をいかした改装とこだわり専門店の集合体の特長で、首都圏のみならず関西でもにぎわいを見せています。その利便性から託児所や図書館など公共施設への展開もあり、かつてのデッドスペースは可能性を広げています。



## 365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント: 【成功の秘訣は「最後まであきらめろ!」】

最後まであきらめな——。これは成功者の決まり文句です。あきらめずにやり続ければ誰でも成功する。しかし、あきらめてしまったらそこで終わり。それまでの努力は水の泡。あきらめるのは弱い人間のすることだ。世間にはそんな風潮がありますが、本当に「あきらめる」ことは悪いことなのでしょうか。



そもそも「あきらめる」には2つの漢字があります。一般的に「あきらめる」といえば「諦める」と書き、その意味は「希望や見込みがないと思って断念する」ですが、実は「諦める」の語源は「明らめる」だそうです。

「明らめる」とは事情や理由を明らかにすること。つまり「諦める」は「明らかに極める」から来ているのです。まずは事実や理由をはっきり認識して(明らめ

る)、その上で状況に合っていなければ断念する(諦める)。この流れが本来の「あきらめる」という行動なのでしょう。「最後まで諦めるな」ではなく「最後まで明らめろ」であれば、まさしく成功の条件だろうと思います。

うまくいかないことに固執するとおおむね失敗します。そこで諦めて次のチャレンジに目が向かないのは「明らめて」いないからでしょう。明らめるとは「受け入れる」ことでもあります。うまくいかない理由を冷静に分析して受け入れなければ、何度も同じことでつまづくのは自明の理。的確な判断は理由を分析して状況を把握することで成し得ます。

どう考えても無理だと「明らめ」たら、すみやかに「諦める」。引き際は企業の存続を左右する非常に重要な判断です。明らめるには「心を明るく楽しくして気持ちを晴れやかにする」という意味もあります。壁にぶち当たったとき、その壁を乗り越えようとする自分を楽しめているかどうか。楽しめていないなら「明らめて」いないのかもしれませんが。諦めるのが悪いわけではなく、明らめずに諦める夢の途中の行動こそが、それまでの努力を水の泡にしてしまう「もったいない」行為だというわけでしょう。



トナリの

## 本棚



### 【そして生活はつづく】

歌手で俳優の星野源が、文筆でも才能を発揮したエッセイ集。彼の手にかかるとつまらない日常が面白くていとおしい日々になり、いつの間にか自分を好きになっている自分に気付くでしょう。生活にちょっと疲れている人におすすめです。

### 船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: [info@f-office301.com](mailto:info@f-office301.com)

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎